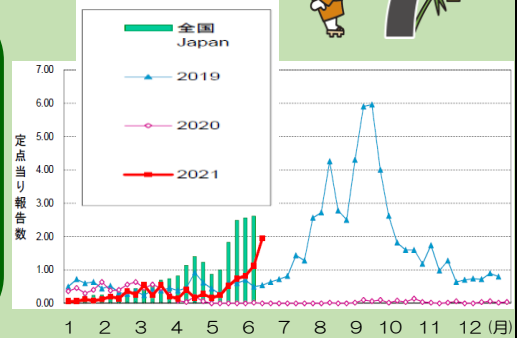


福島市保健所 感染症だより



～全国でRSウイルス感染症の患者数が増加しています～

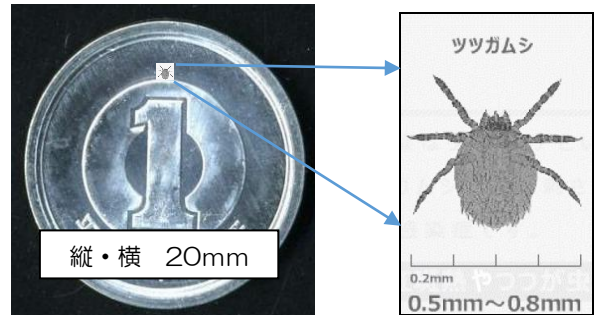
全国感染者総数 **8,046人!!** (集計期間: 2021/5/31~6/6)
 主な症状は鼻水や咳などですが、重症化すると気管支炎・肺炎などの原因になる場合があります。飛沫・接触により感染します。
 感染力が非常に強く、大人も感染します。正しい手洗い、マスクの着用を徹底し、幼稚園や保育園、家庭内感染を予防しましょう。



つつが虫病に注意しましょう!!

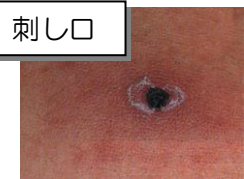
つつが虫病は、リケッチアという細菌を持つダニに刺されることで感染します。ヒトからヒトへは感染しないといわれています。春～初夏にかけて流行し、福島市では去年6月や今年4月に医療機関から報告がありました。

- ◆潜伏期間 (感染後に症状が出るまで)
5～14日
- ◆主な症状
発熱、発疹、刺し口が特徴です。
リンパ節の腫れも多くみられています。
- ◆予防対策



ダニに刺されることを防ぐことが最も重要です。 (農作業、山菜採り等、山林や草地に入る際は長袖、長ズボン、長靴等を着用し肌の露出を避ける、防虫スプレーを使用する等。) また屋外作業後は、入浴や着替えをすることで吸い付いているダニを落とすことができます。予防接種はありません。【※熱中症にならないよう注意しましょう。】

屋外作業後に、**発熱・発疹・リンパ節の腫れ**等がみられた場合には、速やかに医療機関を受診しましょう。



腸管出血性大腸菌による食中毒に気を付けましょう!

腸管出血性大腸菌は牛などの腸の中にいる病原大腸菌の一つで、「O157」「O26」「O111」がよく知られています。感染力が強く、主な症状は腹痛や下痢等ですが、無症状で便から菌を排出している場合もあります。原因として多いのは、**食肉の生食や加熱不十分、不適切な温度管理での生野菜調理、感染者の糞便を介しての人-人(接触)感染**です。

食中毒予防
の三原則

- 菌を①つけない (手指衛生、消毒)
- ②増やさない (食材の温度管理)
- ③やっつける (肉の十分な加熱)

◆下痢や激しい腹痛がみられた場合には、**速やかに医療機関を受診しましょう。**

7月28日(水)は**日本肝炎デー**です!

7月26日(月)～8月1日(日)は「**肝臓週間**」になります。肝臓の病気は成人期に多発し、経過も長期にわたります。肝臓の検査を受け、肝炎の予防に努めましょう!

発行日: 令和3年7月13日

発行元: 福島市保健所 保健予防課感染症対策係

住所: 〒960-8002 福島県福島市森合町 10-1

電話: 024-572-3152

HP 検索キーワード

福島市保健所 感染症